

2024.3.26

田村まみ組織内参議院議員、予算委員会で質疑！

物流2024年問題への対策について



武見厚生労働大臣（左）、田村まみ議員

<https://youtu.be/hWKhhZ1QAkE>

田村まみ組織内参議院議員、発言抜粋

物流2024年問題への対策について



まみに聴かせてキャンペーンに寄せられた声

「物流2024年問題は単に運転手不足の問題ではなく、荷役や受け入れ現場、特にスーパーでは荷卸、整理保管品出しは現場従業者が担っており、総合的視野が必要です。」

「物流の2024年問題の影響で、トラックへの製品の引渡し時間が早まり対策に追われています。物流業者への支援が製造業、小売業への支援につながると思います。」

「物流効率化法はドライバーの低賃金を解決しません（残業規制で収入が減り、基本給は上がりません）。ドライバーの賃金や待遇の改善に注力すべきです。」

- 大手事業者を中心に取り組み推進を促す一方で、例えばパレット化ひとつをとっても、その取引先の中堅・中小企業も含めたサプライチェーン全体で体制を整えないと物流効率化は実現しないことから、中堅・中小企業への支援強化の必要性を訴えました。
- 物流産業は、他産業での機能別（例：生産、製造、販売）と比較して、類似の事業を行う事業者間で委託・受託し合う特殊な多重下請け構造にあることから、働き方改革の推進と並行して、多重下請けの産業構造を解消していくための政策の検討と実行を行うことにより、物が届く仕組みと適正な運賃の実現を求めました。